

授業科目	臨床実習 2	2 学年・後期・2 単位 (90 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	谷口圭吾 (保健医療学研究棟 E402 号) e-mail : ktani@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	菅原和広、佐々木健史、戸田創		
概要	整形外科疾患、内科疾患、中枢系疾患、呼吸器疾患、循環器疾患などに対する基本的な理学療法評価・検査を実施し、得られた結果に対する分析を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動機能、形態学的な観点から障害を観察できる</li> <li>2. 検査・測定を状況に即して実施できる</li> <li>3. 検査結果から正常範囲を理解し、異常を判断できる</li> <li>4. 収集した検査データを基に、障害との関連性を考察できる</li> </ol>		
評価	臨床実習指導者による評価、実習サマリーとレポート、実習報告会の内容により評価する。		
履修上の留意点	2 年次前期までのすべての専門必修科目を履修し、合格していること。		

内 容 ・ 方 法	
実習方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1 施設につき、3～5 人(A～E グループ)で実習を行う</li> <li>2. 実習期間内の金曜日に計 5 日間の実習を実施する</li> <li>3. 臨床実習施設にて基本的な検査手技を試みる機会を得る</li> <li>4. 学生が行う課題 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 担当教員の指導計画に則って、実習計画を事前に立案し、実習指導者の確認を得る</li> <li>2) 実習経験・施設間連絡表は毎回、実習指導者に提出して内容の確認を得る</li> <li>3) 逐次、検査記録を記載し、毎回、担当教員に提出して確認を得る</li> <li>4) グループワークを行い、報告会で使用するサマリーを作成する</li> <li>5) 報告会終了後に実習報告書を提出する</li> <li>6) 上記のほか、別途、実習指導者、担当教員から指示された課題を遂行する</li> </ol> </li> </ol>
実習期間	実習期間：後期 11 月下旬から 2 月下旬の 10 日間(ガイダンス, 学内演習を含む)
実習場所	大学が指定する実習協力病院(札幌医科大学附属病院、手稲溪仁会病院、溪仁会リハビリテーション病院、時計台記念病院、羊ヶ丘病院)
実習時間	基本的に金曜日の 9:00-17:00 であるが、実習施設の就業時間およびスケジュールに従う。 上記以外の時間のケースカンファレンスや指導者による振り返り学習を含んで、合計 90 時間を実習として行う。
実習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 各実習施設における特徴的な疾患を対象として、実習指導者の指導のもと適切な検査手技を実施する。</li> <li>2) グループワークを行い、学生間で相互に検査手技を確認する。</li> <li>3) 実習経験・施設間連絡表を実習終了後、毎回提出する。特に「実習中フォローアップ」には到達目標に照らし、自身の不足している部分、実習中に解決出来なかった事柄を具体的に記載し、次回の実習時の努力目標とする。</li> </ol>